



1. 学校長挨拶

爽秋の候、保護者の皆様におかれましては、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素より帝京ロンドン学園の教育活動への御理解、御協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、今週9月28日(月)に2026年度後期が始業いたしました。以下は、始業式場で述べました式辞です。甚だ粗辞で恐縮ですが、御一読いただければ幸甚に存じます。

イギリスではこれから、日々、日照時間が短くなり寒さも増し、冬に向かう厳しい時期を迎えますが、学園では今週末のJAPAN祭りを皮切りに、様々な行事が控えております。生徒のみなさんにとりまして、実り多き学期となりますよう、職員一同力を合わせて教育活動を展開して参りますので、今学期も変わらぬ御支援を賜りますようお願い申し上げます。御挨拶に代えさせていただきます。



2026年度後期始業式 式辞

皆さんおはようございます。先程、2名の転入生の紹介がありましたが、皆さん、2人が一日も早くロンドン学園の生活に慣れることができますよう、よろしくお願い申し上げます。

さて、6月15日の着任の際も述べましたが、私がロンドン学園で勤務するのは2度目ですので、こうして式辞を述べるのも、4年ぶりとなります。

実は2022年8月に、学園を離れたあとも、帝京大学で教える傍ら、学園の顧問として、ネルソン先生と連携を取りながら、日本で広報活動のお手伝いをしていましたので、この学園との御縁が切れてはいたわけではありません。

前回の着任から今回の再赴任まで7年間ですが、世の中は、パンデミック以前と以後とで、大きく変わりました。もちろん、この学園も同じく、大きな変化を経験しています。

まず、生徒のみなさんについては、寮生と通学生の割合の変化です。コロナ以前は圧倒的に寮生が多かったです。次に男女比の変化です。これも男子の方がはるかに多かったのですが、今では女子が過半数となり、それが原因かどうかはわかりませんが、以前よりずいぶん落ちついた学園の雰囲気になっているような気がします。

学校の体制としては、3学期制から2学期制に移行したこと、IBが始まったことが大きな変化です。IBについては、前回赴任の2020年にゼロの状態から導入準備を始めた訳ですが、今年の3月にIB第一期生が卒業するまでに、順調に発展している姿を見ることができるのは、大きな喜びです。また、その年からアートコースも始まったのですが、現在、併設の美術学校 ISCA の退去との関係もあり、コースとしての募集を停止いたしました。ただ、過去7年間のアート教育で蓄えた、学園の教育資産は、また、別の形で引き継いで行きたいと考えています。

施設面でいえば、仮校舎の設置、これは年内に撤去の予定です、そしてシアター棟の全面改修があります。皆さんには大変、御不便をおかけしましたが、来年3月には竣工（完成、引き渡し）の予定です。このシアター棟は、寮や教室も含め、1967年にサー・アレキサンダー・ゴードンというウェールズ出身の著名な建築家がデザインしたもので、2021年に

全面建て替えを計画していたところ、歴史的建築物として保全命令が出され、内部のみを改修することになった経緯があります。110年前に建てられた学園のシンボルであるマナーハウスだけでなく、シアター棟と寮も60年の歴史がある建築遺産であり、学園の大きな財産であることも知っておください。

学校を説明する際には、以上のような生徒像、教育制度、校舎や校庭といった設備が挙げられるわけですが、学校の伝統を受け継いでいく精神的な柱は「校訓」、「校歌」、「校章」の3つだと言われます。イギリスの私立学校の場合は制服も大きな役割をもつのですが、私がこの学園を最初に訪れたのは、8年前の2019年10月の創立30周年記念式典の時でした。その場で驚いたのは、30年の歴史を持つ学校に校歌がないことでした。

それで、前回の着任後すぐに、校歌制定にとりかかったのですが、当時はコロナ・パンデミックの真最中で、英国全土でロックダウンが実施されるなど、外部との接触が極端に制限され、なかなか遅延として進みませんでした。

歌詞は在校生の手で作られ、曲は卒業第一期生の音楽家、山本友樹さんをお願いすることだけが決まった段階で、生徒会の皆さんに後を託して学園を離れましたので、先程、校歌を初めて、生徒の皆さんが歌うのを直に聞くことができ感慨無量です。改めて、作成に関わられたみなさんの先輩、先生方、外部の方々に深く感謝申し上げたいと思います。

さて、この学校は50人に満たない小規模な学校ですが、日本と英国という2つの異なる文化にルーツがある、非常にユニークな学校です。そこで学ぶ皆さんは、日本に暮らす同世代の高校生に比べ、はるかに密度の高い経験をしています。そして、少ない生徒数がゆえに、一人ひとりが学校に与える影響力は非常に大きなものがあります。みなさんには是非、それぞれの個性と能力を発揮して、学園をさらに前進させる原動力となっていきたいと思います。大規模校では校長が全校生徒を知ることは難しいのですが、ロンドン学園ではそれが可能ですし、前回の赴任時にも、全校生徒と面談をさせていただきましたので、皆さん、忙しい中、誠に恐縮ですが、それをみなさんにもお願いしたいと思っています。過去には49名のクラスを担当したこともありますので、全校生徒46名のサポーターとして、みなさんと、担任・副担任の先生方を支えることができれば、と考えています。

さて、今週木曜日には10月が始まり、2026年度も後半に入ることになります。3年生は、いよいよ、それぞれの進路希望実現に向けたラストスパートです。2年生はこのあとすぐ任命式を行います。新生徒会のメンバーを中心に、名実共に学園のリーダーとなる時期です。1年生は、高校生活への適応の時期を終え、卒業後の自分の姿を具体的に描き始める時期となります。

校歌にも「二度と戻らない三年（みとせ）の時、、、」と歌われていますように、高校生には、誰も3年という限られた時間しか与えられていません。本校37年の歴史の中で、みなさんの先輩方がそうであったように、また「ディセンド・クリーゼ」（学びを通して、成長せよ）、という校訓が導くように、未来の大きく成長した自分に出会うため、日々の学びを続けてください。

みなさん一人一人にとって、この学期が学業、スポーツ、芸術の、実り多き時間になることを願って、後期「始業式」の式辞といたします。

2026年9月28日 帝京ロンドン学園校長 濱田 幸裕



2. 後期始業式

9月28日(月)、後期始業式を行いました。後期からは新たに1・2年生に各1名の転入生が加わり、新しいメンバーでのスタートとなりました。また、後期生徒会執行部の任命、各種表彰が行われました。前期の振り返りを活かして、後期では気分を新たにスタートして欲しいと願っています。

3. 研修旅行フォトコンテスト受賞者 (広報部より)

6月の研修旅行(1年生:ブライトン、2,3年生 イングランド北部とスコットランド)にあわせて、広報委員会がフォトコンテストを実施しました。テーマは「景色」。

研修旅行先ならではの写真となるよう、皆それぞれ工夫していました。



4. 各コースより

サッカーコース

9月に入り、イギリスのサッカーシーズンも始まったと同時に本格的にサッカーコースでの試合も始まりました。選手のレベルに応じて活動する場所が変わり、United select、Beaconsfield town FC U-18、RedKore、Hayes & Yeading FC U-16と多岐に渡りますが、それぞれの場所で活躍しています。10月には、サッカーコースのアウティングとしてプレミアリーグ観戦を予定しています。

Sun 18 Oct
2:00 PM



Albion v Crystal Palace
Premier League
American Express Stadium



アートコース

夏休み明けのアートコースは、生徒たちが休暇中に訪れた美術館や水族館での体験を楽しそうに語り合う和やかな雰囲気の中でスタートしました。

ISCAによる授業では、新しい先生が加わりました。生徒たちはこれまでとは異なる英語のアクセントに少し緊張した様子も見られましたが、制作活動が始まるとすぐに集中し、意欲的に授業へ取り組んでいました。

アート&デザインのクリス先生の授業では、生花をモチーフに、さまざまな画材を使ったスケッチに挑戦しました。画材による表現の違いを体験しながら、観察力を深める学習を行いました。

また、ファッション&テキスタイルのリサ先生の授業では、これまでに撮影した自然物の写真の中から6枚を選び、異なる画材や紙を用いて、線や形を意識しながら描写を行いました。翌週には、それらのイメージをもとに版画制作の実験にも取り組みました。授業の中で観察力や表現力を磨く一方で、課外授業として美術館鑑賞も実施しました。今回は、初めてアートコース生+IBDP1の生徒とともにテート・モダンを訪問しました。実際の作品を目の前にした生徒たちは、画集やインターネッ

ト上では伝わりきらない作品の色の塗りや質感、空間に広がる存在感に大きな刺激を受けていました。授業で学んだ視点を活かしながら作品を鑑賞することで、アートへの理解をさらに深める貴重な機会となりました。



5.寮便り

日本に残って受験勉強を頑張っている寮生もいるため、少し寂しい寮内ですが、誕生日会をしたりホラムービーを一緒に見たりしながら、元気に過ごしています。気温も下がり、日が暮れるのも早くなってきましたが、楽しく充実した寮生活になるように、寮執行部のキャプテンたちがお出かけや学内での行事を考えているようです。

6. Careers Information (進路指導部より)

Interested in studying at a university in the UK or abroad? Want some advice about university courses and careers? How about going to the "[What University? & What Career?](#)" event held at Olympia, London on 14th November? It's one of the largest university fairs in the UK and has a range of booths from the major university groups. There are also workshops on career choices, the university application process, and even studying in the US.

7. 国語科 新任教員着任のご挨拶

9月より着任いたしました久。帝京ロンドン学園の自然豊かで歴史ある環境のなかで、一緒に学びを深めていくことができるのを楽しみにしています。部活動や学校行事でもみなさんに関わる機会があるので、真剣な授業とのメリハリをつけながら、様々な面で楽しい思い出を作っていきたいです。どうぞよろしくお願いいたします。



帝京ロンドン学園の Instagram は [コチラ](#)！▶▶▶

